

青森県特別支援学校総合スポーツ大会  
フライングディスク競技実施に係る感染症対策ガイドライン

青森県特別支援学校スポーツ連盟  
フライングディスク専門部

本専門部は、「令和４年度 第２回青森県特別支援学校総合スポーツ大会 感染症対策ガイドライン」をもとに、以下に留意し、来場者の安全と感染拡大防止に努める。

＜競技全般に関すること＞

- ①来場する全ての方に、「体調管理チェックシート」の提出をお願いする。  
※提出されたシートは、連盟事務局が適切に管理し、大会終了１４日後に廃棄する。
- ②来場する全ての方に、こまめな手洗い・手指消毒することをお願いする。
- ③来場者は、常に「ソーシャルディスタンスの確保」と「３密」を意識し行動する。
- ④全ての来場者は、マスクの着用を原則とするが、人との距離（２ｍ以上を目安）が確保できる場合や熱中症のリスクが高い場合においては、マスクの着用を求めない。なお、選手は、競技中のマスクの着用を求めない。
- ⑤３密を避けるために「監督会議」は行わず、事前に留意事項等を記載した資料を配布する。ただし、監督による選手の受け付けは行う。
- ⑥開会式は簡素化し、密集・密接を避けて実施するが、閉会式は行わない。

＜参加者・競技役員・ボランティアに関すること＞

- ①会場となる補助陸上競技場各出入口に消毒ポンプを設置し、競技場に入場する全ての人  
が手指消毒を行う。
- ②審判員、ボランティアには、必要に応じて連盟事務局が用意するフェイスシールドの着  
用をお願いする。
- ③ディスクは各サイト２０枚以上用意し、使用後は消毒を行う。
- ④競技中、声を出しての応援は行わない。
- ⑤練習エリアの使用は、各校責任の下、「ソーシャルディスタンスの確保」と「３密」を  
意識して行う。使用するディスクは、各校で持参することとし、使用後は消毒を行う。

＜待機場所に関すること＞

- ①待機場所は専門部が定めたテント設営エリアとする。
- ②サイトへの入退場は専門部が定めたルートを使用する。

＜その他＞

①不測の事態が発生した場合は、連盟事務局と連携し、本専門部長の指示のもと、来場者の安全を最優先に対応する。

②会場案内図や飲食可能エリアなどについては、連絡事項参照のこと。